

おだがいさま

odagaisama

76号
平成30年
6月1日発行

目指すは役立つじじちゃん、
楽しいことを
楽しい仲間と



大山地区で活動している、
「粋々サロン男塾」代表者の
三浦次雄さんにお話を伺いました

○粋々サロン男塾とは

粋々サロン男塾は、平成28年1月に立ち上げたサロンで、鶴岡市内でも数少ない、男性限定のサロンです。平成27年に市社協主催の「なりげんき男塾」が大山地区で開催され、それをきっかけに活動が始まりました。平均年齢77.15歳（H30.4現在）、メンバー20人で活動しています。いきいき百歳体操やかみかみ百歳体操などで健康づくりに取り組みながら、気心の知れた仲間同士の交流を楽しんでいます。

＜開催日時・会場＞

日時 毎週金曜日 13時30分～16時
場所 鶴岡市大山コミュニティセンター

＜問い合わせ先＞

粋々サロン男塾 代表 三浦次雄
☎090-3750-2253

活動を行う上で大切にしていることは？

この会を設立する前に、「自分が住みたい町」はどんな町なのか話し合ったことがあります。この活動も、「自分が住みたい町」のひとつの形だと思います。人からやってもらうより、自分がやりたいことを主体的にできる町になればいいなと。自分たちがやってみたいことを皆で楽しみながらやってみたら、今の活動になりました。

今後の活動予定は？

「役立つじじちゃんになろう」です!!自宅の障子や網戸、襖の張替えができるようになればと、メンバーを講師にコミセンの障子で練習したところ、地域の方々にとても喜ばれて。自分たちが楽しくてしたことが思いの外周囲に喜ばれたものだから、一同非常に嬉しくなりました。この活動を通じて身体が丈夫になったばかりか、メンバーの自信や活力も蘇ってきたように感じています。



粋々サロン男塾
代表 三浦次雄さん

鶴岡市社会福祉協議会

平成30年度 事業計画と予算

3月に開催された評議員会で今年度の鶴岡市社会福祉協議会事業計画と予算が承認されました。

6つの重点事業

1 地域福祉活動の推進

地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画 2015」における、住民主体による地域福祉活動、災害時のボランティア活動、コミュニティソーシャルワーク※1 実践を充実するための仕組みや体制整備、また、「地域支え合いプラン」を関係団体等と協力して計画的に実施します。同時に、社会福祉法人連携による公益的な取組を継続して進めます。

2 自立相談支援事業と権利擁護活動の推進

開設4年目となる鶴岡地域生活自立支援センター「くらし」の活動、課題を整理し、相談、支援の更なる充実に努めながら、新たな生活支援サービスの検討を行います。また、地域包括支援センター、障害者相談支援センター等と協力しながら、権利擁護活動及び成年後見制度の啓発活動を進めると同時に、権利擁護に関わる支援機関の設置について検討します。

3 高齢者福祉、障がい者福祉事業の充実

「第二期事業経営計画」に基づき事業を推進するとともに、計画の中間年としての検証を行います。また国が提唱する、高齢者と障がい者への福祉サービスを分けずに同一事業所で一体的にサービスを提供していく「共生型サービス」の研究を進めます。また、全国社会福祉協議会の委託事業として「介護職員実務者研修通信課程」を開校します。

4 児童福祉事業の充実

保育園、児童館、学童保育所（放課後児童健全育成事業）の事業運営については、特に事務管理の効率化、リスクマネジメント体制の強化を継続して進めながら事業の充実に努めます。また、児童福祉施設における地域貢献活動を進めると同時に、第一学区学童保育所の施設整備を計画的に行います。

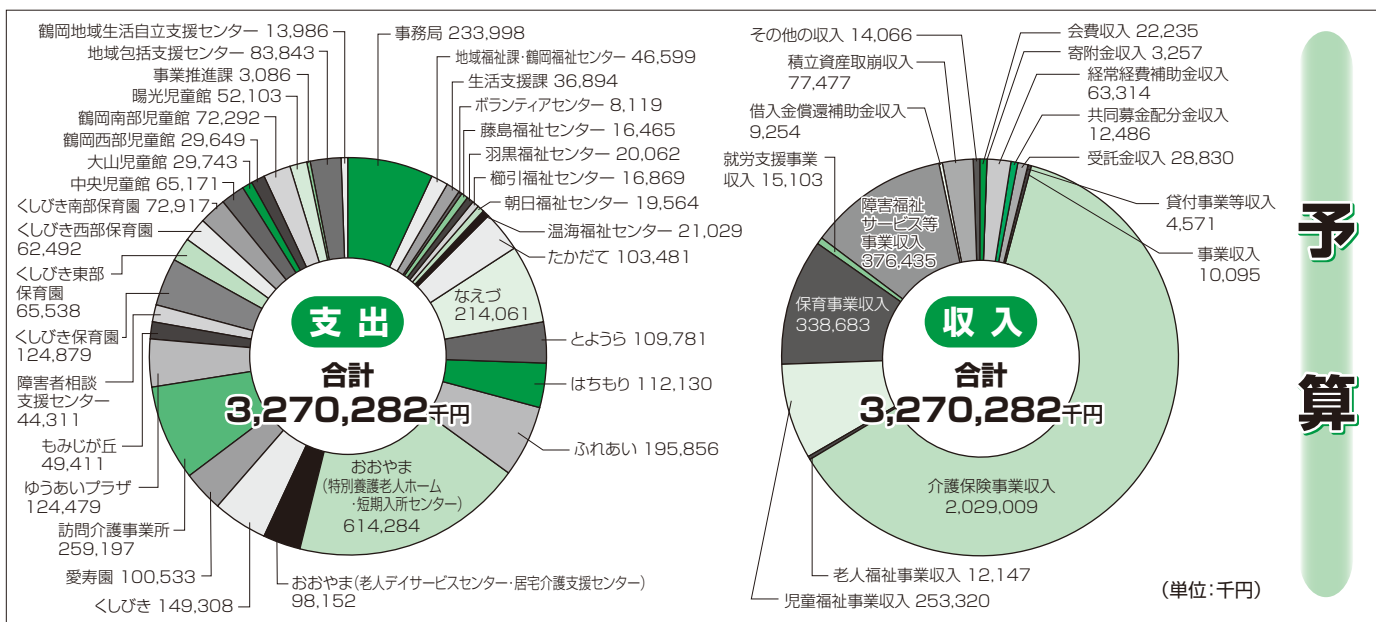
5 法人運営の充実・強化

「発展・強化計画（第2期）」において「法人組織運営と組織体制の強化」として位置付けた各種取組を進めながら、特に、監事並びに会計監査法人からの指導の下、財務規律の強化、ガバナンスの強化を更に進めます。

6 「生活支援・介護予防の基盤整備」に向けた体制整備

本市が進めている「介護予防・日常生活支援総合事業※2」における生活支援コーディネーター※3 の配置計画を注視しながら、その中で社会福祉協議会が果たす役割とその体制整備に向けた検討を進めます。

- ※1 コミュニティソーシャルワーク：援助を個別化するだけでなく、地域（社会）共通の課題と捉え、個人の援助とそれを支える地域（社会）の活動への支援を同時並行的に働きかけていく活動。
- ※2 介護予防・日常生活支援総合事業：要支援または要介護状態となる恐れのある高齢者を対象に、住み慣れた地域で、できる限り健康で自立した生活を送ることができるよう、住民主体活動も含めた多様な社会資源やマンパワーを活用した介護予防、生活支援サービスを総合的に提供する事業で、本市では29年度から実施されている事業。
- ※3 生活支援コーディネーター：高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援、介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能（主に資源開発やネットワーク構築の機能）を果たす者。



事業計画

鶴岡市社会福祉協議会は本市における地域福祉推進の中核団体として、住民がお互いに支え合う安心した暮らしと優しさを育む福祉のまちを創るため、住民の主体的参加と行政並びに関係団体、他社会福祉法人との協働による『おだがいさまのまちづくり』を推進します。

地域福祉事業	地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画2015」の実施3年目を迎えます。今年度は中間年検証にあたり、内容の見直しや取組のスピードアップを図りながら、「時代に合った鶴岡市の地域福祉のかたち」の方向づけを行います。 ○福祉コミュニティづくり事業 学区・地区社協に対する活動助成金の交付や、学区・地区社協連絡委員会の運営及び情報交換会、研修事業の実施により、新たな地域課題等の把握・啓発を図り、学区・地区ごとの支え合いプランにより小地域福祉活動の基盤づくりを推進します。 ○おだがいさまのまちづくり事業 誰もが安心して住み慣れた地域で暮らし続けるために、見守り・支え合いなどの小地域での福祉活動や、地域課題の「把握と対応」の仕組みづくりを支援します。地域の福祉意識を高め、住民主体活動の強化を図ります。 ・福祉活動支援事業 ・おだがいさまネット活動推進事業 ・人にやさしいまちづくり事業 ・地域福祉の担い手発掘・養成事業 ・福祉関係団体等助成事業 ・仲間づくり交流事業 ○会食・配食・交流事業 学区・地区社協等が実施主体となり、コミュニティセンター、公民館単位で会食・配食サービスやレクリエーションなどの交流活動を通し、仲間づくりと見守り、生活支援を図ります。 ○福祉有償移送サービス事業 要介護等認定者、身体障害者手帳・療育手帳所持者で、公共交通機関の利用が困難な方々に対して、福祉車両により通院などの外出を支援します。 ○ボランティア活動推進事業 ボランティア活動の相談、調整、情報提供などのコーディネート、NPO法人など連携した人材養成、子どもから社会人まで幅広い世代に対する福祉教育を推進します。また、災害ボランティアセンター設置・運営が迅速かつ的確に行われるよう関係機関とのネットワークづくりを進めます。 ○地域福祉運営事業 ・「福祉のつどい」や各種研修会の開催。 ・「鶴亀番付」の発行 ○大震災等支援活動推進事業 鶴岡市へ避難している方々へ必要な情報提供や関係機関と連携した個別訪問を行うなど、状況に応じた相談支援を行います。 ○地域公益活動を行う市内社会福祉法人の連携の推進 鶴岡地区特養連絡協議会9法人を対象に連携した研修会や検討会議を行います。将来的には、市内すべての社会福祉法人が地域課題を共有して、連携した取組を行うことを目指します。 ○家族介護者交流支援事業（市受託） ○食の自立支援事業（市受託） ○福祉バス運行事業 ○共同募金配分金事業	生活支援事業 判断能力や生活状況を踏まえた多様な支援に対し、成年後見制度や日常生活自立支援事業を中心とする生活支援事業に取組みます。また、自立相談支援事業で相談者とハローワークに同行するなど相談者に寄り添い、信頼関係を築きながら、関係機関との連携により貧困や社会的孤立の解消、自立に向けた支援に取組みます。 ○ふれあい福祉相談事業 福祉全般に関わる相談や、相続・扶養・多重債務など関係機関協力の下、無料法律相談（予約制）を年14回開催します。 ○日常生活自立支援事業（県社協受託） 判断能力が十分でない認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等が自立した生活を送られるよう、福祉サービスの利用や日常的金銭管理の支援を行います。 ○権利擁護ネットワーク構築事業 成年後見制度による後見人となり、被後見人の財産管理及び身上監護を行い個人の権利を擁護します。後見業務を実施している受任団体のネットワークの充実を図り、成年後見制度の普及啓発に努めます。 ○生活福祉資金貸付事業（県社協受託） ○たすけあい資金貸付事業 ○鶴岡地域生活自立支援センター（県・市受託） 生活や仕事などで支援を必要とする方に、一人ひとりの状況に応じた支援計画を作成し、他の専門機関と連携を図りながら自立に向けた支援を行います。 高齢者福祉事業 「利用者本人の目指す生活、自分らしい生活」を送るための支援に努め、市民・利用者に信頼され、選ばれるサービスを提供します。 ○入居サービス事業 通所介護事業 訪問介護事業 居宅介護支援事業 短期入所事業 訪問入浴事業 ○入居サービス事業 特別養護老人ホーム グループホーム 高齢者生活福祉センター ○独自事業 ・介護職員初任者研修 ・介護職員実務者研修 ・生涯現役推進事業「なりげんき塾」 障がい者福祉事業 利用者が、地域の中で安心して自立した日常生活を送ることができるように、関係機関との連携を図り、意思決定の支援を心掛け、利用者の望む暮らしに向けた支援と権利擁護の推進を図ります。 ○就労継続支援事業 ○在宅支援事業 ・生活介護 ・自立訓練（機能訓練・生活訓練） ・居宅介護 ・重度訪問介護 ・訪問入浴 ・短期入所 児童福祉事業 子育て支援ニーズに対応しながら、子どもの健全育成を図ります。関係機関との連携強化と、子どもや保護者にとって安全で安心な子育て環境づくりを推進します。 ○保育所運営 ○児童館運営 ○子育て広場運営 ○学童保育所運営（放課後児童健全育成事業）
---------------	---	--

鶴岡市の“ホストタウン”の取り組み

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、国は、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等の観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を“ホストタウン”として全国各地に広げています。

ドイツ連邦共和国とモルドバ共和国のホストタウン認定を受けた鶴岡市では、どのような交流が行われているのか、鶴岡市教育委員会スポーツ課からお話をうかがいました。

○ホストタウン交流の内容は？

鶴岡市では、これまで、相互の文化や食について知る体験やイベント、企業・学校との交流などを行ってきました。

また、3月22日から27日までの6日間には、ドイツのボッチャチームの合宿を受け入れ、期間中、日本代表選手も招いての公開試合も開催されました。

○ボッチャとはどんな競技ですか？

ボッチャは、パラリンピック競技大会の正式種目で、障がいの有無や年齢を問わず楽しめるスポーツです。3月に開催された公開試合の際には、観戦した200名の市民の方とのボッチャ体験会や交流対戦会も行われました。

○合宿の受け入れで感じたこと

3月の合宿受け入れでは、ハード面の課題にも多く気づかされました。一見、使いやすそうに見えるトイレが、車いすを利用する選手の方には狭くて使いにくかったり、バリアフリーやユニバーサルデザインの大切さ、誰もが暮らしやすい共生社会について学ぶ機会にもなりました。



今後も、ホストタウンを推進しながら市民スポーツの促進、地域の魅力の国際発信を目指し、ドイツやモルドバの事前合宿を誘致することで、鶴岡市全体を盛り上げていきたいと考えています。

赤い羽根募金 配分施設・団体のお知らせ

平成29年度に皆さまからご協力いただきました赤い羽根共同募金は、平成30年度の地域福祉推進のため施設や地域で行われる活動に役立てられます。

(本市の福祉施設・団体への配分総額: 11,497,000円)

配 分 団 体	
地 域 福 祉 在 宅 福 祉 事 業	第一学区社会福祉協議会
	第五学区社会福祉協議会
	湯野浜地区社会福祉協議会
	(特非)明日のたね
	(特非)鶴岡災害ボランティアネットワーク
	(特非)ぼらんとす
	CAP庄内
	自立支援センター ふきのとう
	鶴岡市ボランティア連絡協議会
	山形県盲ろう者友の会
「福祉の心」 推 進 事 業	新形愛育会 新形保育園
	くしびき南部保育園
障がい者小規模 作業所支援事業	(特非)花の会 手作りクッキーおからや
	(特非)一歩 多機能型事業所いちほ
民 間 立 学 童 保 育 所 支 援 事 業	第二学区学童保育所
	第三学区学童保育所 こどもの家
	第三学区学童保育所 こどもの森
	第三学区学童保育所 こどもの城
	第四学区学童保育所 太陽の子1
	第五学区学童保育所 虹っ子クラブ
	京田きらきらよいこの家
	いなば学園 藤島児童クラブ2
	いなば学園 藤島児童クラブ3
	羽黒百寿会 泉学童保育所
福祉車両整備事業	羽黒百寿会 広瀬学童保育所
	親和会 就労継続支援B型事業所 さんのう
	(特非)工房せい
	(特非)絆の会 レインボー広場
地域福祉車両整備事業	(特非)ゆきやなぎ 青柳作業所
	鶴岡市社会福祉協議会

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成30年3月7日から平成30年5月6日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

- ・株荘内日報社 様 100,000円
- ・洲田 剛士 様 チャイルドシート1台
- ・カラオケ「心の会」 様 30,000円

◎羽黒福祉センターへ

- ・鶴岡市立羽黒第二小学校 児童環境委員会 様 5,000円

◎柳引福祉センターへ

- ・剣持 孝文 様 チャイルドシート1台

★地域福祉センターなえづへ

- ・鶴岡市立朝陽第二小学校 様 シャワーチェア1脚
- ・難波 茂 様 DVDドライブレコーダー1基

★高齢者福祉センターおおやまへ

- ・山本 良伸 様 墨汁6本、半紙1,200枚
- ・中村 松枝 様 100,000円

★はちもりへ

- ・小波渡婦人会 様 コーヒーセット
- ・三瀬婦人会 様 コーヒーセット

★くしびき東部保育園へ

- ・鶴岡自動車学園同友会 様 交通安全紙芝居6冊

★くしびき南部保育園へ

- ・櫛引野球スポーツ少年団 様 幼児用野球セット一式

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

- ・匿名 10,000円

★もみじが丘へ

- ・イオン三川店 様 イオンギフトカード 30,800円分
- ・マックスバリュ東北様 イオンギフトカード 91,400円分

おだがいさま

第76号
平成30年6月1日発行
発行部数 48,800部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号 (にこ♥ふる2階)

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

柳引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。